

第 1 号通信

研究報告申込要領
(2023 年 5 月 31 日)

日本広告学会
第 54 回全国大会ご案内
[研究報告申し込みのご案内]

大会統一論題

今こそ広告の「ちから」を問いなおす！

日本広告学会第 54 回全国大会

主催校 関東学院大学（横浜・関内キャンパス）

2023 年 11 月 17 日（金）～19 日（日）

大会運営委員長 関東学院大学 唐沢龍也
大会運営委員会事務局 関東学院大学 経営学部
唐沢龍也教員オフィス（317）内
〒231-0016 神奈川県横浜市中区真砂町2-12
電話 045-264-6634（教員オフィス直通）
e-mail: jaa54.kgu@gmail.com

ご挨拶

2023 年秋に第 54 回全国大会を 4 年ぶりに対面にて本学、関東学院大学を主催校として開催されることになりました。2020 年以降、新型コロナウイルス (Covid19) の感染状況に鑑みて全国大会はオンラインでの開催が続いておりました。日本広告学会はわが国における広告研究の中心的な存在であり、全国大会は 1 年に 1 度、広告研究者が一堂に会して議論する貴重な研鑽と情報交換の場です。本年 4 月にオープンしました横浜・関内キャンパスを会場に会員の皆さまをお迎えできることは、喜びに堪えません。統一論題は「今こそ広告の『ちから』を問いなおす!」としました。本テーマはこの数年で大きく変化した社会における「広告」の持つ「ちから」を再発見することを意図しています。実務と研究の最先端の知見から大会テーマを問う場とし、さまざまな立場、視点から会員の皆さまの間で活発な議論がなされる大会にすべく最善を尽くします。

2023 年 5 月 31 日

日本広告学会第 54 回 (2023 年度) 全国大会
大会運営委員長 唐沢龍也
(関東学院大学経営学部)

1. 大会統一論題 (大会テーマ)

今こそ広告の「ちから」を問いなおす!

コロナ禍の 2021 年、日本のインターネット広告費がマスコミ四媒体 (「新聞」・「雑誌」「ラジオ」・「テレビメディア (地上波テレビ+衛星メディア関連)」) の総計を初めて上回りました。これは広告とメディアの新時代を示す転換点を象徴するできごとであると解されます。急速に進化するテクノロジーによるデジタル化は社会システムや個人のライフスタイル、価値観を大きく変えています。そして、社会の DX (デジタルトランスフォーメーション) によって、あらゆる広告にデジタルありきの構造が求められるようになったと言えます。SNS や動画配信サービスを日常的に利用する Z 世代にとって、広告は割り込んでくる邪魔者として扱われているように思えます。いつの間にか広告は炎上することを恐れて萎縮しているように見えます。その結果、消費者から広告への期待が薄れてしまったのではないのでしょうか。

さらに近年のグローバル規模での感染症の拡大、気候変動による災害や米中対立、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は世界を予測困難な不確実なものにしています。多くの企業が消費者のニーズを把握することに苦慮しています。さまざま不安が顕在化している今こそ、企業と消費者を結びつける「広告」の本質的な「ちから」を再考すべきではないのでしょうか。本大会のテーマは 2006 年専修大学で開催された第 37 回大会のテーマ「広告の『ちから』を問う!」に依拠しています。かつて「広告」は時代の空気を先取りし、優れたクリエイティブ表現によって社会をリードしてきました。どうすれば広告への期待を回復できるのか、広告コミュニケーションの原理原則と視座を問いなおし、広告の役割や可能性について多面的な視点から研究・発表・討議する機会としたいと考えます。

2. 日程（すべて対面開催）

2023年11月17日（金）～11月19日（日）

- ・17日（金） 午後：各種委員会、理事会兼常任理事会
- ・18日（土） 基調講演、シンポジウム、会員総会等 懇親会
- ・19日（日） 自由論題報告（新設のショートセッション含む）・ワークショップ

3. 会場

関東学院大学 横浜・関内キャンパス

〒231-8328 神奈川県横浜市中区万代町1-1-4

（JR根岸線・横浜線「関内」駅から徒歩1分、または横浜市営地下鉄線「関内」駅から徒歩2分）

注意：会場近辺（JR関内駅、横浜駅周辺など）には、ビジネスホテルが数多くあります。11月は国内観光やインバウンドの回復により近隣のホテルも予約が混み合うことが予想されますので、お早めにご手配ください。

4. 研究報告のお申し込み

本大会の「研究報告」は全て自由論題報告です。自由論題報告は、広告理論および実務のさまざまな分野から自由なテーマでの研究報告です。本大会は従来の自由論題報告をレギュラーセッションとし、新たな試みとしてショートセッションを実験的に導入します。このセッションは下記の点で従来の自由論題報告と異なります。

- 報告要旨は不要（予稿集には申込書の「報告概要」のみ掲載）。
- 発表時間は質疑応答含めて15分。
- 『広告科学』に報告記録は掲載しない。タイトル・報告者一覧だけ掲載する。
- 事例・実態報告、研究課題・アイデアの提示なども受け付ける。ただし将来的に研究につながることを意図している報告であること。

なお、研究報告の要領は以下のとおりです。

- （1）報告者の資格：**本年度までの年会費を7月23日（日）までに納入済みの、日本広告学会正会員及び名誉会員。
- （2）報告件数：**一人1件。なお、共同研究で第一著者でない場合は、複数件の報告を妨げません。共同研究の場合、第一著者は必ず当日、報告して下さい。第二著者以降の報告は任意です。
- （3）報告予定数：**レギュラーセッション、ショートセッション合わせて20件程度。従来通り、レギュラーセッションの報告時間は30分（報告20分、質疑応答10分）とします。報告件数については応募状況により変更することがあります。
- （4）報告申し込み方法：**「研究報告申込書」（学会ホームページからダウンロードしたもの）にご記入の上、大会運営委員会事務局宛にメール（jaa54.kgu@gmail.com）でお申し込み

みください。郵送および FAX でのお申し込みはできませんのでご注意ください。

- ・ 申込期限：2023 年 7 月 30 日（日）23 時 59 分まで。
- ・ その後、『大会報告要旨集』原稿（A4 用紙 4 ページ程度）を、8 月 31 日（木）までにご提出いただきます。その作成要領は、6 月中旬を目処に学会ホームページでダウンロードできるように致します。なお、ショートセッションは『大会報告要旨集』原稿のご提出は必要ありません。

（５）報告者の決定：大会運営委員会がレギュラーセッションの場合は研究報告要旨を、ショートセッションの場合は報告概要の内容を検討し、決定いたします。結果は、応募された会員宛に、9 月中旬までに通知いたします。

5. 今後の予定

第 2 号通信

- ・ 大会プログラム、大会参加申込手続き、大会参加費等のご案内
- ・ 2023 年 10 月上旬の発行予定

6. 第 53 回（2022 年度）全国大会運営委員会

大会運営委員

■大会運営委員

委員長 唐沢龍也（関東学院大学）

副委員長 芳賀康浩（青山学院大学）

委員（50 音順）

井上一郎（江戸川大学）、岩崎達也（関東学院大学）

佐藤達郎（多摩美術大学）、松本大吾（千葉商科大学）

事務局

■大会運営事務局

〒231-0016

神奈川県横浜市中区真砂町2-12 関内駅前第一ビル3階 関東学院大学経営学部 唐沢龍也
教員オフィス317内

電話：045-264-6634（教員オフィス直通）

e-mail: jaa54.kgu@gmail.com ※54 と kgu の間に（ドット）が入ります

大会に関するお問い合わせは、大会運営委員会事務局宛にお寄せください。
できる限りメールにてご連絡いただけますと幸いです。

以上